

各作品の設置環境

1. 仮設作品の設置環境(パティオ池鯉鮒 エントランスロード)

○鑑賞スペース

- ・歩道、ベンチが設置されており、作品をゆっくり見ることができる。
- ・夜間照明も設置されている（各作品に1基ずつ）。
- ・作品によって、車道側を正面にする作品と、歩道側を正面にする作品がある。
- ・作品を設置する台座は左右に3台ずつ、計6台あり、パティオ池鯉鮒を正面に向って右側が高い台座で、3台とも同じサイズである。向って左側は低めの台座で、サイズはそれぞれ異なる。



○植栽等周囲の環境

- ・周囲の植栽とよく調和し、文化の薫る風景をつくりだしている。

○維持管理状況

- ・作品破損の連絡を受けた場合、宇納教授を通して、作家に連絡してもらっている。
- ・明らかに人為的な破損があった場合を想定して、野外彫刻プロムナード展振興運営委員会委員長名義で保険に加入している。

2. 常設作品の設置状況

※仮設作品と同様、人為的な破損があった場合を想定して、全ての作品で保険に加入しているが、保険金の名義は作品によって異なる。

作品名	ハッケヨイ	制作者	市川 徹
素材	大理石	設置年	平成 16 年 10 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地三丁目地内）		
保険名義	野外彫刻プロムナード展振興運営委員会委員長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	公園通りの出入口にあり、歩道へ入ってくる人を出迎えるように斜めに設置されている。座って鑑賞するスペースはない。 作品自体小ぶりなので、近くで見る作品である。 植栽や柵があることで、少し手にふれにくくなっている。		
植栽等周囲の環境	近くに植えられたしだれ桜とセットで入口らしい風景をつくりだしている。  		
維持管理状況	少し汚れが見られる。 ネームプレートや説明文が植栽に埋もれている。  		

作品名	かばのモアモア	制作者	高崎 雅代
素材	大理石	設置年	平成 17 年 10 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地二丁目地内）		
保険名義	野外彫刻プロムナード展振興運営委員会委員長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	公園通りの出入口にあり、図書館方面から歩いてきた人を出迎えるように斜めに設置されている。座って鑑賞するスペースはない。 作品自体小ぶりなので、近くで見る作品である。 植栽や柵があることで、少し手にふれにくくなっている。		
植栽等周囲の環境	近くに植えられたたしだれ桜とセットで出入口らしい風景をつくりだしている。  		
維持管理状況	少し汚れが見られる。 		

作品名	記憶－猫－	制作者	川本 麻裕
素材	F.R.P	設置年	平成 19 年 3 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地三丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	公園通りの途中にある。植栽が歩道面より少し上がった部分に設置されており、歩いていると猫と目が合う。 遠景、近景どちらからも鑑賞することができる。 すぐ近くにベンチはあるが、猫の背中側にあるため、鑑賞用には適さない。歩きながら鑑賞する作品である。 		
植栽等周囲の環境	周囲の植栽とよく調和し、歩行者の目に止まるように工夫されている。		
維持管理状況	特筆事項なし。		

作品名	水顔ーみずかほー	制作者	江村 和彦
素材	陶	設置年	平成 20 年 3 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地二丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 破損したため、「Oh,I'm. ココニイル」を暫定展示中。 		
鑑賞スペース	公園通りの途中にある。 すぐ近くに木陰ベンチがあり、座って鑑賞できる。 		
植栽等周囲の環境	周囲の植栽が弱っており、貧相。また、作品に手が届きやすく、いたずらしやすい環境にある。 反対側の植栽と見比べると、植栽の弱り具合が目につく。  		
維持管理状況	暫定的に展示している「Oh,I'm ココニイル」も羽根の部分が破損してしまっている。 植栽の手入れ等をして、作品にいたずらしやすい環境をなくす必要がある。		

作品名	風の門	制作者	近藤 均
素材	六方石	設置年	平成 20 年 3 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地二丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	新地公園内の図書館・資料館入口の正面に設置されており、座って見れる場所はないが、必ず目に入る位置にある。		
植栽等周囲の環境	設置当時と比較して、向って左の植栽が変わっている。		
維持管理状況	台座が高くなっており、登って落ちると危険なため、柵及び看板が設置されている。		

作品名	ハジマリノカタチ	制作者	小島 雅生
素材	ブロンズ、玉石（グレー）、黒御影石	設置年	平成 20 年 3 月
設置場所	丁風公園（知立市東長篠二丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	丁風公園内の広がりのあるスペースに設置されている。台座が球体で低い分、手に触れやすい。 公園内で遊んでいれば、必ず目に入る位置にある。		
植栽等周囲の環境	周囲の植栽、舗装とよく調和している。		
維持管理状況	手に触れやすく小さいため、壊されやすい。2 度の破損に遭い、小人の銅像は修復したが、小人の後ろの「生命の樹」の枝は修復していない。 形状がとんがっており、小さな子どもが転んで頭をぶつけたりすると危険である。 しかし、壊され、紛失した時、市民より「小人がいなくなりました！」と通報があった。利用者には、丁風公園のマスコットとして、愛着を持たれているのではないか。		

作品名	談－chat－	制作者	野村 和弘
素材	御影石	設置年	平成 19 年 3 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地一丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	知立中央通り線側の公園通りの出入口に設置されている。植栽をはがし、石をしきつめ、作品のそばにいす代わりの石を 3 点配置してある。 座りながら間近で作品を見ることができる。 背景に白い板を設置し、背後の建物を見えなくしている。 		
植栽等周囲の環境	知立中央通りは人通りが多く、作品をゆっくり見られる環境にないのが少し残念。		
維持管理状況	時折、子どもが鳥にぶら下がっていたりするが、特に被害の報告は受けていない。 敷き詰めた石の溝の汚れが見られる。		

作品名	童－空想と思案－	制作者	久野 佐和子
素材	大理石	設置年	平成 19 年 3 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地一丁目地内）		
保険名義	知立市長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	知立中央通り線側の公園通りの出入口に設置されている。座って見られるスペースはない。		
植栽等周囲の環境	知立中央通りは人通りが多く、作品をゆっくり見られる環境にないのが少し残念。中木を植え、背後のコンビニエンスストアの目隠しをしてはいるが、依然として背後が気になる。		
維持管理状況	ネームプレートが植栽に埋もれている。		

作品名	IMOMUSHI	制作者	鵜飼 留美子
素材	御影石	設置年	平成 15 年 10 月
設置場所	市道公園通線（知立市南新地一丁目地内）		
保険名義	野外彫刻プロムナード展振興運営委員会委員長		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	公園通りと遊歩道の交差部に設置されており、必ず歩行者の目に入る。 形状も丸く、手に触れたくなる作品となっている。 近くにベンチがあり、座って鑑賞することもできる。		
植栽等周囲の環境	当初は芝が植えられていたが、雑草に負けてしまい、夏になると見苦しくなっていた。 そこで、昨年より付近の住民がボランティアで花壇を作ってくれるようになった。 作品にアプローチする飛び石も作られている。		
維持管理状況	季節ごとに頻繁に草花が植え替えられ、道行く人の目を楽しませている。 しかし、作品の全体像を阻害するような草花用の支柱が立てられたりすると、少し見劣りする。 		

作品名	ネコゴッコ	制作者	都築 美咲
素材	アルミ	設置年	平成 20 年 3 月
設置場所	緑地（知立市池端 3 丁目地内）		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	知立駅に向う途中の知立中央通り沿いの緑地に設置されている。周囲に植栽があり、中に立ち入りづらいが、作品の下は小石が丸く敷き詰められている。座って見られるスペースはない。  		
植栽等周囲の環境	植栽が弱っており、雑然としている。 知立中央通りは人通りが多く、作品をゆっくり見られる環境にないのが少し残念。		
維持管理状況	ネームプレートが植栽に埋もれている。 植栽の手入れが必要である。		

作品名	わーWAー	制作者	梅本 洋子
素材	大理石	設置年	平成 20 年 3 月
設置場所	鳥居公園（知立市鳥居一丁目地内）		
写真	【設置当時】  【現在】 		
鑑賞スペース	鳥居公園内の丘の上にあり、公園のシンボリック存在になっている。また作品自体がベンチのような使われ方をしている。		
植栽等周囲の環境	公園内の高木とセットでシンボリックな風景をつくりだしている。 		
維持管理状況	特筆事項なし。		